

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)博多東3丁目プロジェクト新築工事

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		評価点		重み係数		全体	
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境			0.40						3.1
1 音環境		3.6	0.15	-	-				3.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-				
1.2 遮音		4.2	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能	T-2以上を採用	5.0	0.60	3.0	-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-				
1.3 吸音	天井:岩綿吸音板、床:タイルカーペット採用	4.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-				3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.38	3.0	-				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-				
3 光・視環境		2.6	0.25	-	-				2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.33	-	-				
1 昼光率		1.0	0.58	3.0	-				
2 方位別開口			-	3.0	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.42	3.0	-				
3.2 グレア対策		3.0	0.29	-	-				
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-				
3.3 照度		3.0	0.14	3.0	-				
3.4 照明制御		3.0	0.24	3.0	-				
4 空気質環境		3.7	0.25	-	-				3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質	規制対象外及びF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	3.0	-				
4.2 換気		3.0	0.30	-	-				
1 換気量		3.0	0.34	3.0	-				
2 自然換気性能		3.0	0.32	3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.34	3.0	-				
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御	喫煙室設置	5.0	0.50	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-				3.5
1 機能性		3.3	0.40	-	-				3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40	-	-				
1 広さ・収納性	10㎡/人で計画	4.0	0.32	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.32	3.0	-				
3 バリアフリー計画		3.0	0.36	-	-				
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-				
1 広さ感・景観	天井高=2.7m	4.0	0.34	3.0	-				
2 リフレッシュスペース		3.0	0.32	-	-				
3 内装計画		3.0	0.34	-	-				
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	取組み6項目	4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-				3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	耐震1.25を採用	4.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2相当	4.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数20年の材料試用	4.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高=4.05	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.17	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	3.0	-	
			各基準階 5,000~8,000N/m ² を採用				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.2	0.20	-	-	4.2
			BPI _m =0.88				
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			4.5	0.50	-	-	4.5
			[BEI][BEI _m] = 0.65				
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
			節水コマ+節水型便器採用				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	中水を採用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.22	-	-	
			OAフローを採用				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			4.1	0.33	-	-	4.1
			ライフサイクルCO ₂ 換算スコア=4.1				
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
			燃焼器具なし				
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	交通負荷低減に配慮した計画となっている	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	